



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

水性で



強
靱
な
塗
膜
。

水系1液型シリコン樹脂系

水系ハイルーフ Si

水系1液型シリコン樹脂系

水系ハイルーフ Si 遮熱型



▼ 上塗り塗料

水系1液型シリコン樹脂系

水系ハイルーフ Si

水系ハイルーフ Siはシリコン樹脂エマルジョンを使用した水性の屋根用光沢塗料です。シリコン架橋による緻密で強靱な塗膜は、光沢の保持性、耐候性、耐久性が特に優れています。又、適度な硬さと表面の親水性コントロールにより低汚染を実現し、屋根材のトップコートとして最適です。もちろん水性ですから、取り扱いも簡単であり、火災の危険や臭気、毒性などの問題もありません。

- 特長**
- 1 塗膜は強靱で、長期耐候性、長期耐久性が優れています。
 - 2 低汚染タイプです。
 - 3 防かび・防藻性があります。
 - 4 水性塗料ですので火災の危険がありません。
 - 5 作業性が良く、はけ、ローラー、スプレーなどで簡単に塗装できます。

- 用途**
- プレスセメント瓦のトップコート
 - 化粧スレートのトップコート
 - 金属屋根(塩ビ被覆を除く)のトップコート

似 姿 ▶ 15kg, 4kg

COLORS ※色見本は印刷のため色調が異なります。(ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。)



水系1液型シリコン樹脂系

水系ハイルーフ Si 遮熱型

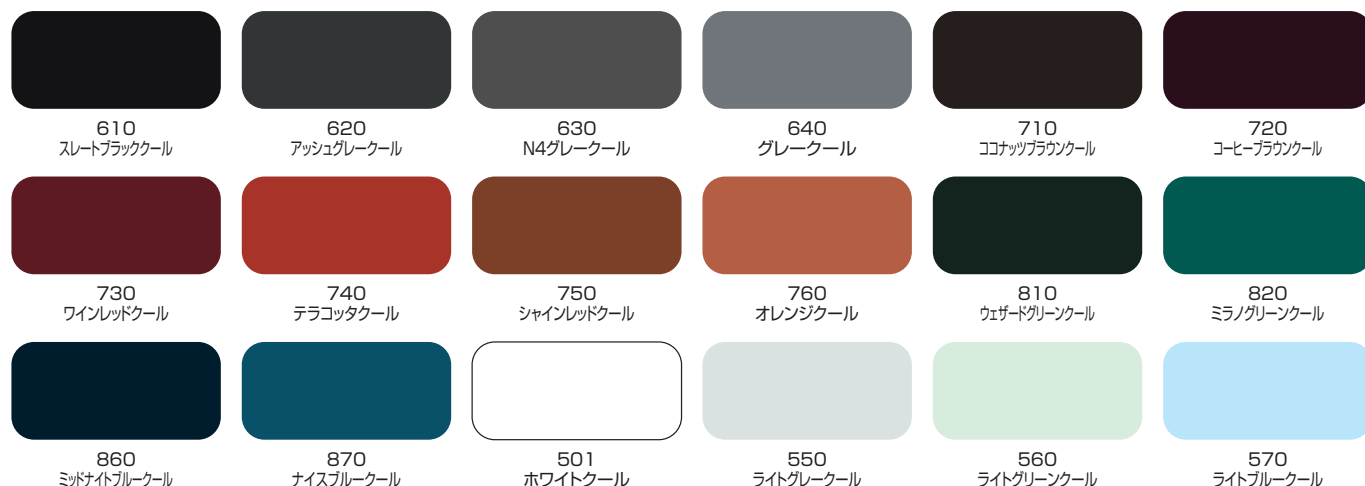
水系ハイルーフ Si 遮熱型はシリコン樹脂エマルジョンを使用した水性の屋根用高日射反射率塗料です。シリコン架橋による緻密で強靱な塗膜は、光沢の保持性、耐候性、耐久性が特に優れています。又、適度な硬さと表面の親水性コントロールにより低汚染を実現し、屋根材のトップコートとして最適です。もちろん水性ですから、取り扱いも簡単であり、火災の危険や臭気、毒性などの問題もありません。

- 特長**
- 1 塗膜は強靱で、長期耐候性、長期耐久性が優れています。
 - 2 遮熱性に優れています。
 - 3 低汚染タイプです。
 - 4 防かび・防藻性があります。
 - 5 水性塗料ですので火災の危険がありません。
 - 6 作業性が良く、はけ、ローラー、スプレーなどで簡単に塗装できます。

- 用途**
- プレスセメント瓦のトップコート
 - 化粧スレートのトップコート
 - 金属屋根(塩ビ被覆を除く)のトップコート

似 姿 ▶ 15kg, 4kg

COLORS ※色見本は印刷のため色調が異なります。(ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。)



▼ 下塗り塗料(シーラー・素地調整材)

1液型変性アクリル樹脂系

水系ハイルーフ シーラー

水系ハイルーフシーラーは特殊変性アクリル樹脂エマルジョンのシーラーであり、アルカリシール性、吸込み止め、旧塗膜付着性に優れています。水系ハイルーフ Siのシーラーとしてご使用いただけます。

- 特長**
- ① 旧塗膜への付着が優れています。
 - ② 水性塗料ですので火災の危険がありません。
 - ③ 作業性が良く、はけ、ローラー、スプレーなどで簡単に塗装できます。

- 用途**
- プレスセメント瓦用のシーラー
 - 化粧スレート用のシーラー

似 姿 ▶ 15kg

厚膜型素地調整材

水系ハイルーフ アンダーガード

水系ハイルーフ アンダーガードはアクリル樹脂系のプレスセメント瓦用の下塗り材です。プレスセメント瓦の表面の凹凸を滑らかにし、上塗り後の仕上がり性を向上させます。

COLORS ※色見本は印刷のため色調が異なります。

グレー(N5.5)

- 特長**
- ① 水性塗料の為、水希釈ですから安全です。
 - ② ローラー塗装も可能な優れた作業性です。
 - ③ さまざまな旧塗膜に付着します。
 - ④ 特殊な樹脂を使用し、エポキシ並みの付着力を発揮します。
 - ⑤ 上塗りの適用範囲が広く、美しい外観が得られます。

- 用途**
- プレスセメント瓦用素地調整材

似 姿 ▶ 15kg

弱溶剤 2液型エポキシ樹脂系

ハイルーフ マイルドシーラー

ハイルーフ マイルドシーラーはエポキシ樹脂系のシーラーであり、化粧スレートやカラーベスト面に対する含侵性に優れた下塗り材です。改修時に素地の状態があまり良くない場合でも使用できます。

- 特長**
- ① 化粧スレート、カラーベスト面への含侵性に優れています。
 - ② 基材に対しての付着性に優れています。

- 用途**
- 化粧スレート、波型スレート用のシーラー
(ノンアスベストタイプの波型スレートには塗装できません)

似 姿 ▶ 15kgセット(主剤 10kg、硬化剤 5kg)

弱溶剤 2液型変性エポキシ樹脂系

ヤネタイトマイルド

ヤネタイトマイルドは変性エポキシ樹脂系の下塗り材です。様々な旧塗膜に塗装ができ、上塗りの種類を気にすることなく上塗り塗装が可能です。また、金属素地に塗る場合には、付着性に加えて優れた防錆効果を発揮します。

COLORS ※色見本は印刷のため色調が異なります。

白

グレー

赤さび色

- 特長**
- ① 様々な旧塗膜に付着します。
 - ② 金属素地に直接塗装でき、防錆力も優れています。
 - ③ 上塗り塗料は、幅広く選べます。

- 用途**
- 金属屋根、旧塗膜のある化粧スレート用の下塗り材

似 姿 ▶ 16kgセット(主剤 14.4kg、硬化剤 1.6kg)
▶ 4kgセット(主剤 3.6kg、硬化剤 0.4kg)



水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型

■ 塗装工程 未塗装 カラーベスト・コロニアル屋根

工程	品名	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	● 表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層を高圧水洗(8～10MPa)で除去し清浄にする。 水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。					
2	下塗	水系ハイルーフ シーラー	清水 30～50	1	0.14～0.17	はけ ローラー	3時間以上
3	上塗	水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型	清水 0～15	2	0.10～0.13	はけ ローラー	3時間以上
4	縁切り	● カラーベスト・コロニアルの重なり部分が塗料で詰まっている箇所は縁切りを行う。					

※基材の劣化の少ない時にご使用下さい。基材劣化がある場合はハイルーフ マイルドシーラーをご使用下さい。

※素地の種類、劣化の状態によって塗付量は増減します。

水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型

■ 塗装工程 塗替 カラーベスト・コロニアル屋根

工程	品名	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	● 遊離塗膜や不安定な塗膜は完全に除去する。ごみ、泥、苔、かび及びチョーキング粉を高圧水洗(8～10MPa)で除去し清浄にする。水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。					
2	下塗	水系ハイルーフ シーラー	清水 30～50	1	0.14～0.17	はけ ローラー	3時間以上
3	上塗	水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型	清水 0～15	2	0.10～0.13	はけ ローラー	3時間以上
4	縁切り	● カラーベスト・コロニアルの重なり部分が塗料で詰まっている箇所は縁切りを行う。					

※基材の劣化の少ない時にご使用下さい。基材劣化がある場合はハイルーフ マイルドシーラーをご使用下さい。

※素地の種類、劣化の状態によって塗付量は増減します。

水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型

■ 塗装工程 金属屋根(亜鉛鉄板、カラータタン屋根、ガルバニウム屋根等)

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	<未塗装の場合> ● 発錆している部分はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを用いて錆を除去する。 ● ごみ、ほこり、チョーキング粉などを高圧水洗で除去し清浄にする。 <塗替えの場合> ● 遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーなどの電動工具、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどの手工具を併用して除去し、活膜だけを残す。発錆している部分は同様に錆を除去する。 ● ごみ、埃、チョーキング粉などを高圧水洗で除去し清浄にする。					
2	下塗	ヤネタイトマイルド [®] (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 5～15	1	0.16	はけ ローラー	16時間以上 10日以内
3	上塗	水系ハイルーフ Si 及び 遮熱型	水 0～15	2	0.10～0.13	はけ ローラー エアレス	3時間以上

※OPが2回以上塗装されている場合は旧塗膜の全面除去が必要になります。

※ヤネタイト マイルドは2液型塗料ですので、主剤:硬化剤=9:1(質量比)の割合で正確に秤量し、混合後は十分攪拌して均一にして下さい。

◎注意事項

- 冬期に降り積もった雪が1週間以上融けにくいような寒冷地では使用できません。(夏場に塗装しておくことも不可です。)つまり山間部で雪の多い地域や北日本では使用できません。
- シーラー・素地調整材は塗装前の下地処理が極めて重要です。ゴミやホコリ・脆弱層などは入念に取り除いて下さい。
- 高所作業となりますので、安全面の対策は万全を期し、ヘルメット、安全ベルトなどを着用して下さい。
- 洗浄は屋根棟部から軒先に向けて行って下さい。逆洗浄は水漏れの原因となりますのでご注意下さい。
- 汚れのひどい場合は、デッキブラシ・タワシなども併用し、汚れを完全に除去して下さい。
- カラーベストの重なり部分に水がないことを乾燥の目安にしてください。
- 重なり部分に塗料が詰まっていると雨漏りの原因となりますので、塗装後は必ず縁切りを行って下さい。
- 夜露の降る恐れのある場合は、2~3時間前に塗装を終了して下さい。
- 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。
 ①気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
 ②被塗物が異常に高温の時
 ③朝夕の結露時期
 ④降雪雨時、またはその恐れのある時